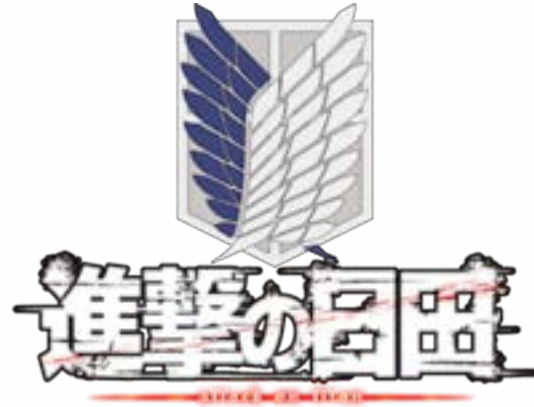


進撃の巨人 in HITA ～進撃の日田～

進撃の日田まちおこし協議会
副会長 根田 政志



「自分が『進撃の巨人』を作るに至ったこの町に何か恩返しができないものか」
そんな原作者・諫山創氏の想いと共に、市民有志によって動き出したプロジェクト
それが『進撃の巨人 in HITA ～進撃の日田～』



クラウドファンディングで設置した
キャラクターの銅像



進撃の巨人 in HITA ミュージアム ANNEX



進撃の巨人 in HITA ミュージアム



物語のシーンを彷彿させる
アニメ10周年記念樹

作者 諫山創氏の協力の元、開館した
『進撃の巨人』のミュージアム

進撃の日田まちおこし協議会

実行委員会員

会長
(株)おおやま夢工房

副会長
(同)hyappyo

事務局
日田市観光課

会計
(一社)日田市観光協会

監査
進撃の日田まちおこし会議

日田市コラボ事業者共同団体

進撃の巨人 in HITA ミュージアム
水辺の郷おおやま

講談社

連絡・調整

後援会員

大分県西部振興局、日田旅館組合、大分銀行など

「進撃の巨人 in HTIA ミュージアム ANNEX」

日本語・英語・韓国語・中国語の4ヶ国語に対応した施設。
漫画全巻の中から、諫山創氏がセレクトしたシーンの複製原画を、
諫山創氏のコメントと共に展示している。

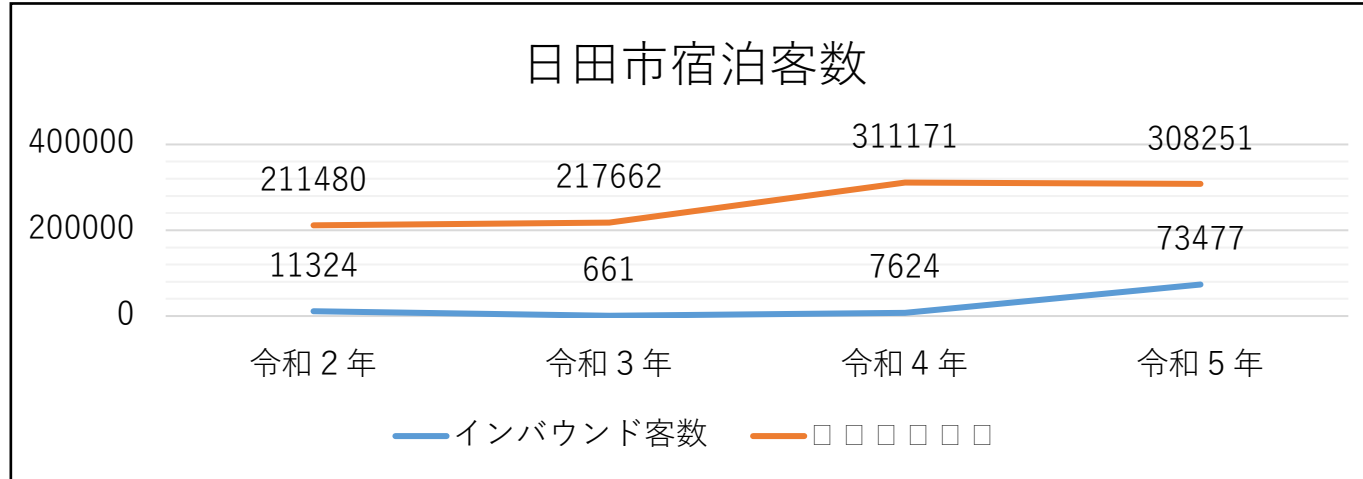


進撃の日田 駅前装飾企画

日田市の玄関口であるJR日田駅前では、
『進撃の巨人』関連のイベント時に、
観光紹介ページに遷移するQRコード付きタペストリー（17種）と
17か国語の言語で「ようこそ」と記載したセイルバナー（17種）を設置。



○日田市のインバウンド



日田市の発地別宿泊者（外国）

1位 韓国 2位 台湾 3位 香港

日田市の主要ターゲット国

台湾・タイ

○インバウンド向け交通整備



■令和 6 年度サイン整備実施

進撃の日田関連スポットなど市内全体に、
観光施設やスポットへの誘導看板（日・英）設置

■進撃の日田シャトルタクシーの実施

路線バスが出ていないエリアを含めた
2種のタクシーツアーを実施中。

■レンタサイクルの貸出

主に韓国の方に人気が高く、利用者が増加している。

諫山創先生の描かれた『進撃の巨人』という作品が魅力的だから、というのは大前提として…

地元企業からの支援

- ・ アプリ開発
(ARポイントの設置・スタンプラリー等)
- ・ コラボ商品の開発
- ・ イベントの実施
- ・ フォレストアドベンチャーコラボ企画

講談社の協力

- ・ ポスターの製作、雑誌への掲載
- ・ 『進撃の巨人』関連企画へのご協力
- ・ 本協議会へのアドバイス等

諫山先生のご協力

- ・ 銅像、除幕式、トークショー等でのご協力
- ・ オリジナル色紙の描き下ろし等

様々な団体・個人が関わる事でこのプロジェクトが盛り上がっている。

今後の課題

『進撃の巨人』が漫画、アニメともに完結した為、継続した誘客を図る取組が必要。

- ！ 新たなスポットや、コンシェルジュスポットの取組でリピーターが増加
- ！ 『進撃の巨人』ファンを日田市のファンにするため、市内全域での魅力づくり
- ！ 「進撃の日田」の魅力を日田市の観光素材とつなげて世界に発信

引き続き、進撃の日田プロジェクトにご期待ください。





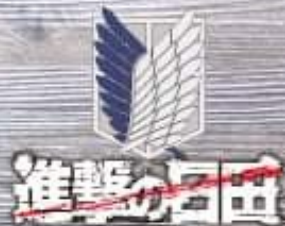
日本遺産に認定されている江戸時代最大規模の私塾「咸宜園（かんぎえん）」の風景を活用したアクリルスタンド。



(左図) 毎年秋に開催される竹灯籠の祭り「千年あかり」の風景を活用。

(右図) 日田の主要産業は林業であり、このような木材市場が数か所存在する。木材の香りが漂う風景を活用。

調査兵団の下駄



【Sサイズ】

【Mサイズ】



靴のサイズ22～24.5cm程度



靴のサイズ25～27.5cm程度

タグを選べます



A

エレン&超大型巨人

B

エルヴィン&ハンジ
&リヴァイ



<参考事例> 日田市内施設の改善(フットスポット新設) 進撃の巨人 in HITA ～進撃の日田～

お客様アンケートの結果、魅力度が低かった「日田玖珠地域産業振興センター」を改善すべく、展示の見直しを実施。店舗一角のコーナー化して装飾、改善した事例。



エレンミカサアルミンの少年期の銅像 4周年銅像磨きの様子
告知の早期化を改善したことで、およそ130名のファンにお越しいただいた。
(R6.11.3)



「進撃」で地域活性化を



商品作りの説明をする根田政志さん＝日田市

日田市が活用商品作り方説明会

【日田】日田市は5月31日、人気漫画「進撃の巨人」を活用した商品の作り方説明会を市内三本松の日田商工会議所で開いた。漫画の作者は同市出身の諫山創さん。同市では作品を生かした地域活性化を図っている。

作品のコラボ商品開発に関心がある事業者ら約30人が参加した。市地域おこし協力隊で、商品作りのアドバイスや催事に関わる根田政志さん(42)が作品の人気の背景や商品作りの流れ、注意点などを説明。「大都市や海外に多くのファンがいる。伸びしろがある」と強調した。

市の担当者から、商品開発の際に生じる著作権料を小規模事業者に補助する制度の説明もあった。

コラボ商品の開発のニーズに対して、日田市商工労政課の協力を得て「コラボ商品開発セミナー」を開催。セミナー内では「進撃の日田」の経緯や現状、自社のサービスにビジネスとしてどう生かすか、キャラクターを使用する際の注意点。開発の進め方などを説明した。セミナー後に個別問い合わせを経て、コラボ商品の開発希望の事業者が増えた。

大分合同新聞 掲載
(R5.6.7)

「進撃の日田」のシンボルである2体の銅像の周年記念に
対象店舗で購入特典として、都度オリジナルデザインのノベルティを制作・配布。
お客様の記念となりつつ市内コラボ事業者への送客にもつながっている。



直近のイベント「リヴァイ兵士長像4周年記念銅像磨き」の様子
銅像を磨くため日田駅前に200人以上が集まった。（令和7年3月8日）
（中央）参加賞の亚克力チャーム日田弁で「また来いよ」と言っています。
（右図）同時開催の店舗購入特典のショッパーモザイク画は日田市の形を表す。



